

株式会社 Qoil、ビオデルマのパッケージをプロデュース

グローバルブランドが日本で売れるための工夫が詰まった セット箱の形状設計からデザイン開発、印刷までトータルで担当

株式会社アイリッジ（本社：東京都港区、代表取締役社長：小田 健太郎、東京証券取引所グロース：3917、以下「アイリッジ」）の連結子会社でマーケティングに関するコミュニケーションデザイン事業を展開する株式会社 Qoil（本社：東京都港区、代表取締役社長：小田 健太郎、以下「Qoil」）は、NAOS JAPAN 株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：グレゴリー・ダンクス）の「素肌由来」の敏感肌スキンケアブランド「ビオデルマ」のセット箱パッケージをプロデュースしたことをお知らせします。

9例目となる今回担当したのは、2024年2月26日発売の数量限定品（11,000個発売）「pigmentbio エイチツーオーホワイト 2pk 2024」のセット箱です。Qoilは2023年4月より「ビオデルマ」パッケージプロデュースを担当しており、ご好評を受け、現在は月に一度のペースでご依頼をいただいています。今後はプロモーション施策まで含めご支援範囲を広げていく予定です。

グローバルブランドの「売れるパッケージづくり」のポイント

世界的なブランドでは、グローバルの規定で商品パッケージ自体のデザイン変更ができないことが珍しくありません。クレンジング水のトップブランドとして知られる「ビオデルマ」も、フランスでは病院等で展開される製品であり、主張が控えめなパッケージである中、同様の規定の中で販売戦略を考える必要がありました。

これに対し Qoil では、本体に手軽に取り付けられるセット箱やアイキャッチシールの企画・制作を通じて、多彩な商品の並ぶ日本の化粧品売場でも訴求力のあるパッケージづくりをご提案してきました。

例えば今回の「pigmentbio エイチツーオーホワイト 2pk 2024」セット箱では、2本入りで40%OFFというお得感を訴求するため、躍動感のある、ボトル画像が飛び出すデザインを採用しました。また、パッケージに窓を付けることで製品の大きさや質感を伝え、安心感を持ってもらえるようにするために、輸送時の細かい振動でも製品を回転させず、陳列時に製品の正面が見えるように形状設計をしています。表層面にはツヤのあるラミネート（高輝度ポリプロピレン）を貼ることで、くすみケアの製品であることを暗示させるとともに、水滴や匂いを付着しにくくするよう配慮しました。さらに、裏側面では、広い表示面積を活かしてラインアップや使用方法を紹介し、関連商品への購買につながる導線を作っています。

冬から春へ季節が変わるこの時期におすすめの、肌のくすみをケアできる「pigmentbio エイチツーオーホワイト 2pk 2024」を、ぜひ各店舗でお買い求めください。

Qoil では今後も、メーカー、売場、消費者の3つの視点から、マーケティング施策を考慮したもののづくり（売り方、見せ方）を提案してまいります。



これまでの担当パッケージデザイン例



プロジェクトメンバー

アカウント・アートディレクション：久保田 泰一郎

NAOS JAPAN 株式会社について (<https://www.bioderma.jp/company/>)

本社所在地：〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-40-5

設立年月日：2017年09月

代表者：代表取締役 グレゴリー・ダンクス

株式会社アイリッジ (<https://iridge.jp/>)

株式会社アイリッジは、「Tech Tomorrow：テクノロジーを活用して、わたしたちがつくった新しいサービスで、昨日よりも便利な生活を創る。」という理念のもと、スマートフォンアプリを活用した企業のOMO（Online Merges with Offline：オンラインとオフラインを統合したマーケティング活動）支援を行っています。OMO支援ではアプリの企画・開発における業界トップクラスの実績があり、手がけたOMOアプリのMAU（月間アクティブユーザー）は8,000万以上に達する業界のリーディングカンパニーです。さらに、リテールテック、フィンテック、MaaS、業務支援等、幅広い領域でDXを支援しています。

2023年4月からは急激な時代の変化に迅速に対応するための次世代型アプリビジネスプラットフォーム「APPBOX」も提供開始しました。「APPBOX」ではスクラッチ開発（ゼロからの開発）、他社開発アプリへの機能追加、パッケージアプリ提供が可能で、パッケージアプリでは従来のアプリを捨てることなく、スクラッチ開発に移行しての機能刷新も可能です。

株式会社Qoil (<https://www.qoil.co.jp/>)

The Switch Design Company ～コミュニケーションのスイッチをデザインして人を動かす会社です～

わたしたちQoilは、「愛とユーモアと。」を合言葉に、ロジックとアイデア、そしてクリエイティブを化学反応させることで、ヒトやモノ、サービスなどが狙い通りに“動く”スイッチをデザインし、社会や企業のボトルネックを紐解き、戦略策定から企画立案・実行・改善まで並走し、ビジネスゴールへと導きます。オフラインからオンラインまで、双方の利点を活かし融合させた最適なコミュニケーションを強みとしています。

※株式会社デジタルガレージ マーケティングテクノロジーセグメント ビジネスデザインカンパニーを前身とし、会社分割により2018年6月に株式会社DGマーケティングデザインとして新設、2021年4月、株式会社Qoilへ社名変更。2023年3月、アイリッジ100%子会社化。

※記載されている各社の会社名、サービス名、商品名等は、各社の登録商標または商標です。